

《課題名》

外傷例に置ける損傷部位の重症度と損傷発生メカニズムの解析

《研究対象者》

本学法医学部門で法医解剖された方で、「法医解剖で得られたデータに基づく疫学的研究ならびに
残余試料を用いた医学研究の実施について」にご協力いただいている方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している情報（及び試料）を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただきず、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方のご遺族おかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（試料・情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

研究課題名：外傷例に置ける損傷部位の重症度と損傷発生メカニズムの解析

研究期間： 2015年10月27日～2024年3月31日

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 社会医学講座法医学部門 一杉正仁

（2）研究の意義、目的について

法医学では、法医解剖及びその後の検査に基づき、異状死体に対する死因や死に至るメカニズムを究明しています。これは、死者の人権を守ることに繋がっています。交通事故、転倒・転落、暴行などによって生じる外傷は、その発生機序と成傷器の特徴が重症度に大きな影響を与えます。損傷の程度とそのメカニズムを解析することで、外傷の初期治療や搬送などの外傷対応に役立つと考えられ、社会貢献にもつながります。

（3）研究の方法について

過去の剖検例における外傷についての情報をもとに、年齢、死因、既往歴別の外傷発生頻度の集計を行います。また、損傷重症度を算出し、損傷メカニズムの解析を行います。記録が不鮮明な場合には、保存組織切片を用います。

（4）個人情報の取扱いについて

研究にあたっては、亡くなられた方やご遺族のプライバシーに十分配慮いたします。解剖検査時に得られた情報のなかで、研究に必要なとしない個人情報は削除し、新たな番号を割り当てることで個人を特定できないようにします。また、研究を学会や論文などで発表する際にも、個人を特定できないようにして公表します。

（5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

（6）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方のご遺族は、希望される場合に、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等

に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

ご遺族の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用（又は他の研究への提供を）停止することができます。停止を求められる場合には、2024年2月28日までに下記（8）にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 社会医学講座法医学部門 一杉正仁

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-1177（代表）

E-mail：hqlegal@belle.shiga-med.ac.jp